

平成25年6月18日

浜田市議会議長 濱松三男様

議員名 芦谷英夫



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 平成25年5月30日(木)
2. 研修内容 ①空き家管理について
②健康づくりシステムについて
3. 研修先 松江市・邑南町
4. 調査経費 江津駅⇄松江駅往復(JR利用6,300円)
松江市役所⇒松江駅(タクシー代800円)
江津駅⇒邑南町⇒自宅(自家用車 ガソリン代1,570円)
自宅(自家用車使用)⇒江津駅⇒松江駅⇒江津駅⇒邑南町⇒
⇒自宅(自家用車使用)
5. 調査研究活動の概要
別紙のとおり

松江市・邑南町調査報告

芦谷英夫

◎期 日 平成25年5月30日(木)

◎調査先 松江市・邑南町

◎調査の内容

①空き家管理について

②健康づくりについて

○松江市(空き家管理条例について)

建築指導課 課長 今津 光男、同主幹 内田 浩

①松江市は平成23年10月に空き家を生かしたまちづくり条例を制定している。この条例では市、市民、事業者の責務を明らかにし、まちなかに住む若者などへの家賃補助、中古木造住宅取得補助、戸建空き家改修補助などの事業を行っている。

②市中心部のまちなかでは、3,864戸のうち空き家は389戸で空き家率は約10%とのことです。空き家の相談窓口として「伺います係」で対応し、ワンストップサービス、スピード感のある対応をしている。

③今後の課題として、空き家にならないための自治会などの協力の仕組みづくり、施策の充実、管理不足空き家の所有者の特定、老朽危険家屋の除却支援制度の創設などがあるとのことである。

○邑南町(空き家適正管理条例について) 危機管理課 細貝 芳弘

①邑南町では空き家適正管理条例を25年7月から施行するとしており、職員の地域担当制度による調査で空き家が334戸あり5,060世帯に占める率は約7%で、ちなみに県内の総住宅戸数2958百戸に対し空き家は442百戸、空き家率は約15%となっている。

②宅建業者3社が空き家対策業務への支援をしており、事業者が参加することは空き家対策の実をあげている。

○邑南町（おおなん元気ネットシステムについて）

保健課 保健師 土崎 しのぶ

①邑南町は「おおなん元気ネットシステム」を構築し、健康づくりを推進しています。これは約93%が加入しているCATV網を活用した、インターネットによる健康管理システムで人口12千人のうち1661人が加入している。

②個人の健康データ、個人や生活のデータなどがデータベース化され、町内の医療機関や行政などが共有し、診察、相談、指導などに活用しているが、介護など福祉施設は加入していない。

③住民向けには入力し易いタッチパネル端末に対応し、町民が参加しやすく、自宅パソコンや公民館などのパソコンからも入力でき、また邑南町健康サポートリーダーなども導入している。

—以上—